

月	学習内容（時数）	評価規準（付きたい力）	他教科との関連
4	<b>未来に生きるわたしたち</b>		
5	<b>課題の発見（2）</b> ① 御調町の宝物（福祉の町）について考える。	○必要な資料や情報を効果的に使い、課題追求に役立てることができる。 <b>（調べる力）</b>	社会科
5	<b>情報を集める（6）</b> ② 地域包括ケアシステムについて調べる。 ③ 地域の施設について調べる。 ・施設の場所や種類。 ・利用者や働いている人。 ④ 施設見学で知りたいことを交流する。		
10	<b>体験してまとめる（6）</b> 福祉施設に関わる方、ボランティアグループに所属されている方をゲストティーチャーとして迎え、話を聞いたり体験活動を行ったりする。 ⑤ ボランティア体験活動を行い、様々な活動内容を知り、何ができるかを考える。 ⑥ 施設見学をして、働く人の困り感ややりがい、利用者の思いを知る。	○ゲストティーチャーの話を聞き、要点をメモにまとめることができる。 <b>（調べる力）</b>  ○友達と協力して活動を進めることができる。 <b>（かかわる力）</b>  ○利用者や働く人の思いに寄り添いながら、関わることができる。 <b>（かかわる力）</b>	音楽科
11	<b>解決策を生み出す（10）</b> ⑦ 施設で働く人や、利用者の方に、自分たちができることを考える。 ⑧ パワーポイントに体験したことや考えたことをまとめる。 ⑨ 下級生に作成したパワーポイントをもとに発表を行う。	○体験したこと、学んだことを分かりやすくまとめることができる。 <b>（表現する力）</b>	国語科 社会科
12	<b>学習の振り返り（1）</b> <b>・さらなる課題解決にチャレンジ（1）</b> ⑩ 学習を振り返り、もっとできることや、継続して行っていくことを考える。	○学んだことを振り返り、今後の自己の生き方に生かすことができる。 <b>（自己を振り返る力）</b>	

## 総合的な学習の時間指導案

指導者 木村 久美子

- 1 学年 第6学年1組25名（男子13名 女子12名）
- 2 単元名 「未来に生きるわたしたち」
- 3 本時の目標 ボランティア体験学習を通して、高齢者や体が不自由な人の気持ちを知ると同時に、御調町にどんなボランティアグループがあるか知り、自分たちにどんなことができるのかを考えることができる。
- 4 学習の流れ（10・11・12時間目／全26時間）

	学習活動	指導上の留意事項★ 支援☆	評価規準 〔評価方法〕
(10分) 導入	<p>1 全体説明 ボランティア体験学習に関わってくださる方々と挨拶を行い、今日の活動の流れを知る。</p> <p>2 本時のめあてを設定する。</p>	<p>★“福祉の町”である御調町でボランティアをされている方々を招いて、何を学びたいのか考えるよう伝える。</p>	
<p>どんなボランティア活動があるのかを知り、自分たちにできることを考えよう。</p>			
展開 (115分)	<p>3 体験活動を行う。 グループに分かれ5つの体験学習を順に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読「ひばり会」 目の不自由な人に日常生活に必要な情報を声に出して読み、録音して渡すボランティア活動を体験する。</li> <li>・手話「ひよこ」 耳の聞こえない人とのコミュニケーションはどうしたらよいか手振りや表情、空書、手話で伝える体験をする。 自己紹介を手話で行う。</li> <li>・要約筆記「キンモクセイ」 いくつかのお題の答えをその場で文字にして伝える筆記の体験をする。</li> <li>・車椅子体験「どんぐりの会」 車椅子の広げ方とたたみ方、坂道の上がり方と下り方を実際に体験する。</li> <li>・アイマスク体験「どんぐりの会」 アイマスクを付けて、階段の上がり降りを行い、ペアの児童は手引きをする。</li> </ul>	<p>★ボランティアをする側とされる側両方の立場を体験し、両方の立場からの気づきをもつように声をかける。</p>	<p>班のメンバーと協力しながら、ボランティア体験活動に積極的に取り組み、両方の立場からの気づきをもつことができる。〔行動観察、ワークシート〕</p>

<p>(10分) まとめ</p>	<p>4 振り返りを行う。 班のメンバー間で感想を述べ合い、班ごとに感想をボランティアの方々に伝える。</p>	<p>★今日の体験活動で学んだことをもとに、次は実際に施設を訪問し、地域の方々とふれあっていくことを伝える。</p>	
------------------	---	--	--